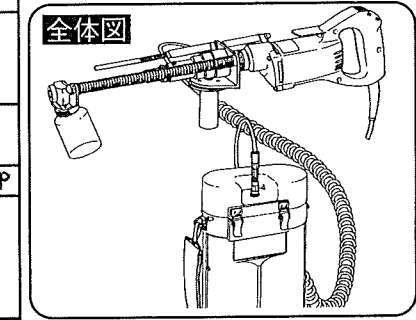
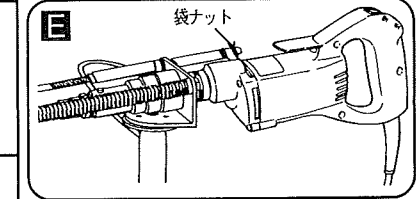
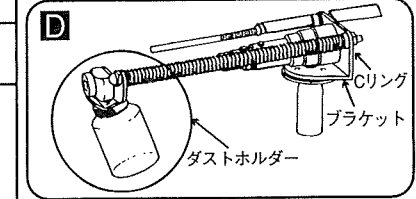
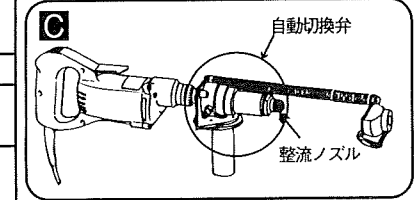
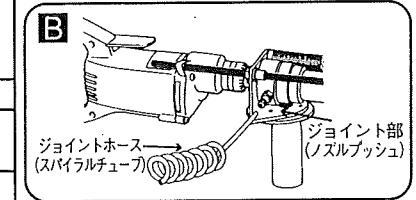
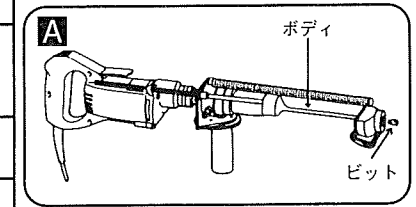


故障かな?とお思いのときは次の処置方法により確認し、良くならない時は販売店にご相談下さい。

株式会社オリエンテック

症状	原因	原因の確認	処置及び対策	参照図
液が出ない	1.ダイヤモンドビットの刃先が詰まっている。	・ダイヤモンドビットの刃先の穴が詰まっているか目視により確認する ・ビットを外しボディを押して液がでるか確認する。	・ビットの刃先を千枚通しなどで、詰まっているものを取り除く。 ・ダイヤモンドビットを交換する	A
	2.ボディの中が詰まっている。	・ボディを押しても液が出ない場合。 ・ボディを外し整流ノズルを押し液が出るか確認する。	・ボディを外し中を針金で清掃する。 ・ボディを交換する。	A
	3.ノズルプッシュに埃が詰まっている。	・整流ノズルを押しても液が出ない場合。	・ノズルプッシュを交換する。 ・ドリルを保管する時はジョイントホース（スパイラルチューブ）は外さないようにする。 ・ボンベホルダーのジョイント部は清潔にする。	B C
	4.冷却剤が無くなっている。	・缶を取り出し残量を確認する。	・新しい冷却剤を使う。（空の状態で使用しない。）	
	5.マイクロカブリングプラグがきちんとボンベホルダーにセットされていない。		・ボンベホルダーにセットする際に「カチッ」と音がするまで差し込む。	
液の出が悪い	1.ジョイントホース（スパイラルチューブ）に穴が空いている。	・目視による確認をする。	・ホースの端の部分であれば、ハサミで穴空き部分を切って使用する。スパイラルの部分であればホースを交換する。	
自動切換弁の液もれ	1.Cリングが外れている。	・目視による確認をする。	・使用を中止し、修理を行う。	D
	2.自動切換弁のシールのへたり。	・Cリングが外れていない場合は、シールのへたりなど商品の寿命です。	・自動切換弁（シャフト、シールなど）を交換する。	D
ノズルプッシュのジョイント部の折れ	1.ジョイント部を強く回し折ってしまった。		・ノズルプッシュを交換する。 ・ジョイント部は黄銅であり、非常に弱いので絶対に強く回さないようにする。	B
	2.ドリルの落下、または強くぶつけた。		・落下、強打などしないようにする。 ・取扱説明書を読み返す。	B
ジョイント部からの液もれ	1.ジョイントホースの曲げによるホースのへたり。	・目視による確認をする。	・ジョイントホース（スパイラルチューブ）を取り外し、弱った部分を切り取りジョイントし直す。 ・ジョイント部は黄銅であり、非常に弱いので絶対に強く回さないようにする。	B
軸ぶれ	1.ゴンドラ作業などによる無理なくじり、曲げ。 2.ドリルの落下、または強くぶつけた。	・ドリルを空転し振動の状態を確認する。 ・ドリルを空転し、どのような音が出るか確認する。	・空転時、振動が確認された場合、すぐにモーターを停止する。 ・自動切換弁を交換する。 ・使用方法を確認する。（作業中はドリルを垂直に押し、くじり、曲げなどをしない。取扱説明書を読み返す。）	
	3.袋ナットが緩んでいる。	・目視による確認をする。	・袋ナットが緩んだ場合、使用を中止し袋ナットを締め直してから使用する。	E
	軸折れ	1.ゴンドラ作業などによる無理なくじり、曲げ。 2.ドリルの落下、または強くぶつけた。		・自動切換弁を交換する。 ・使用方法を確認する。（作業中はドリルを垂直に押し、くじり、曲げなどをしない。取扱説明書を読み返す。）
3.袋ナットが緩んでいる。		・目視による確認をする。	・袋ナットが緩んだ場合、使用を中止し袋ナットを締め直してから使用する。	E
4.対象径の受け板がセットされていない。		・対象径の受け板がセットされているか確認する。	・対象径の受け板に交換する。	OJ-3HP
ブラケットの曲り		1.ゴンドラ作業などによる無理なくじり、曲げ。 2.ドリルの落下、または強くぶつけた。	・目視による確認をする。 ・空転をさせると異常音の発生（かじり）がする。	・他部へのストレスが発生するため、使用を中止する。 ・ブラケットを交換する。 ・使用方法を確認する。（作業中はドリルを垂直に押し、くじり、曲げなどをしない。取扱説明書を読み返す。）



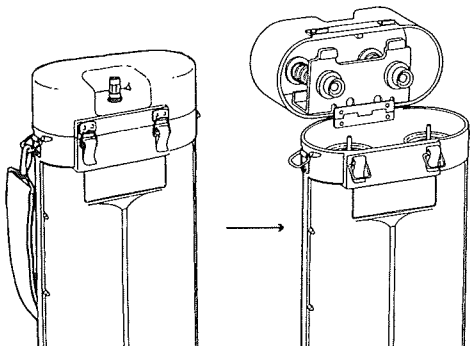
故障かな?とお思いのときは次の処置方法により確認し、良くならない時は販売店にご相談下さい。

株式会社オリエンテック

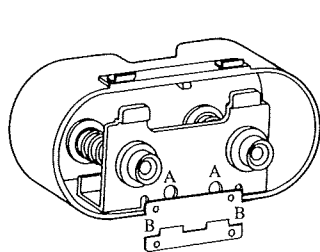
症状	原因	原因の確認	処置及び対策	参照図
ダストホルダーの曲り	1.ゴンドラ作業などによる無理なくじり、曲げ。 2.ドリルの落下、または強くぶつけた。	・目視による確認をする。 ・空転させると異常音の発生(かじり)がする。	・他部へのストレスが発生するため、使用を中止する。 ・ホルダー取付金具を交換する。 ・使用方法を確認する。(作業中はドリルを垂直に押し、くじり、曲げなどをしない。取扱説明書を読み返す。)	
ダストホルダー(先端部)の戻りが悪い	1.ネジの緩み。 2.ゴムパッキンがセットされている。 3.スプリングのスライド部にノロの付着。	・目視による確認をする。 ・目視による確認をする。	・ネジを締め直す。 ・ゴムパッキンは、天井穿孔時に使用する。壁面穿孔時にはゴムパッキンを取り外してから使用する。 ・ノロを除去し、潤滑剤などをつける。 ・使用後、ドリルの清掃を行う。	OJ-3HP
ダストホルダー部からの液もれ	1.受け板が削れて穴が大きくなっている。 2.対象径の受け板がセットされていない。 3.ゴムパッキンの劣化。 4.ボディが細くなっている。	・目視による確認をする。 ・目視による確認をする。 ・目視による確認をする。 ・目視による確認をする。	・受け板を交換する。 ・対象径の受け板と交換する。 ・ゴムパッキンを交換する。 ・ボディを交換する。	OJ-3HP OJ-3HP
ビットが中に入っていない	1.鉄筋に当たっている。 2.コアが詰まっている。	・鉄筋に当たっているか目視によって確認する。 ・目視による確認をする。	・ノロの色によって見分ける。 コンクリートの場合・・・灰色 鉄筋の場合・・・透明でメタル片あり ・ボディ内のコアを掃除する。	
モーターから火花が出る	1.モーター内にノロが入ってしまった。	・目視による確認をする。	・使用を中止し、修理を行う。	
ドリルが動かない	1.モーター内にノロが入ってしまった。 2.チャックの緩み。	・目視による確認をする。	・使用を中止し、修理を行う。 ・チャックを締め直す。	
ボンベホルダーの液もれ	1.ボンベホルダー内の液もれ。	・ボンベホルダー内のネジの緩み。	・ボンベホルダー内のネジを締め直す。	下図

ボンベホルダー内液もれ修理方法

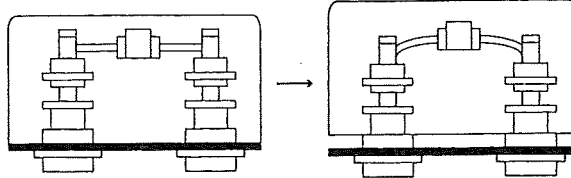
①ボンベホルダーを開ける



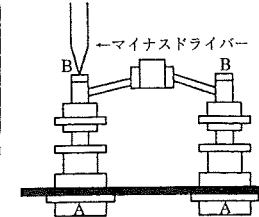
②ネジを外す(A・・・2ヶ、B・・・2ヶ)



③内側のパーツを引き出す



④緩んだネジを締める



Aの部品をプライヤーで固定し、Bのネジをマイナスドライバーで締める。
※ネジを軽く締めて、止まった位置からさらに1/4~1/2回転締めして下さい。強く締めすぎますと、間のパッキンが破損する事があります。ご注意ください。

⑤②で外したネジを締めて完了

ネジの緩みの確認方法
④のAのパーツを廻してみると、ネジが緩んでいない場合は、ホースと一緒にCの部分が動くが、緩んでいる時は一緒に動かない。

